

松江市監査委員告示第7号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により、令和2年3月27日付け松江市監査委員告示第2号で公表した定期監査（公営企業会計）の結果に基づき、松江市長から措置等を講じた旨の報告がありましたので、次のとおり公表します。

令和2年6月1日

松江市監査委員 松本 修司
松江市監査委員 安来 弘喜
松江市監査委員 野々内 誠

措 置 報 告 書

監 査 結 果	措 置 状 況
<p>(1) 上下水道局（水道事業会計）</p> <p>① 建設改良事業や委託業務などの契約においては競争入札が原則であるが、その性質又は目的が競争入札に適しない場合として、地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号により随意契約が締結できるとされている。その際には、経済性を考慮し、経費の節減を図るよう努められたい。</p> <p>② 水道料金の未収金については、現年度分の未収金が11月末時点で346万円減少し、収納率が0.13ポイント改善したことは評価できる。不能欠損が増えることのないよう、引き続き未収金対策に努められたい。</p>	<p>(1) 上下水道局（水道事業会計）</p> <p>① 業務の特殊性や経済的合理性等を総合的に判断し、適正な価格での契約となるよう価格交渉を行い、最小の経費で十分な事業効果が得られるよう経費の節減に取り組んでまいります。</p> <p>② 未収金対策については、年間2回の強化月間を設定して、一斉催告、夜間の電話催告等に取り組んでおり、引き続き未収金の回収に努めてまいります。</p>
<p>(2) 上下水道局（下水道事業会計）</p> <p>① 今期の下水道接続件数は、前年同期と比較し863件増の74,823件となり、水洗化率は0.2%上昇し93.8%となったこと、下水道使用料・受益者負担金及び分担金の未収金残額が引き続き減少していることは評価できる。今後も、より積極的に下水道接続件数の増加、水洗化率向上を図るとともに、効率的な未収金回収に努められたい。</p>	<p>(2) 上下水道局（下水道事業会計）</p> <p>① 未接続世帯を対象とした戸別訪問等による接続勧奨について、排水設備現地調査の結果を踏まえ、より効率的に実施するとともに私道等の管渠未整備の解消を進め、引き続き新規接続件数の増加と水洗化率の向上に努めてまいります。</p> <p>また、引き続き未収金の回収に努めてまいります。</p>

<p>(3) ガス局 (ガス事業会計)</p> <p>① 経年管対策については、松江市ガス事業経営戦略プランに沿って進めているところではあるが、漏洩したガス配管の緊急修繕やガス配管工事の施工業者不足などにより、計画通りに進んでいない状況である。</p> <p>しかしながら、都市ガス事業を継続していくためには、安全確保が不可欠であることから、経年管対策を積極的に進めるとともに、技術者の育成に努められたい。</p>	<p>(3) ガス局 (ガス事業会計)</p> <p>① 現在のガス局の経年埋設本支管は、非耐震化管と合わせて94%が対策済みであり、耐震化率も同率となっています。これは、全国平均の88%と比較しても、遅れていない状況です。しかしながら、経営戦略プランと比較した場合、緊急工事の発生や施工業者の不足により計画通りに進んでいない状況となっています。</p> <p>今後の対策として、従来から行っている年度当初を目途とした早期発注の徹底を図り、併せて、水道工事などの他工事との共同施工についても調整を密にし、計画的に施工ができるよう進捗管理を徹底します。</p> <p>施工業者不足については、本支管工事の長期発注計画を提示することにより、施工業者の経営の安定や従業員の雇用の継続を図るとともに、新規施工業者の開拓に向けた取り組みを行います。併せて、ガス局職員や施工業者を対象とした技術研修会を定期的実施し、技術者の継承・育成に努めます。</p>
<p>(4) 交通局 (交通事業会計)</p> <p>① 交通局では運輸安全マネジメント実施計画に基づき、乗務員、運行管理者を対象に研修を行い、事故防止に努めているところであるが、今期も既に6件の有責事故が発生している。このうち、3件が停車中の車両に対する事故であり、乗務員の慣れによる漫然運転に起因していると考えられる。今後は、乗務員の安全意識の改善に向けた研修をさらに充実され、事故の防止に努められたい。</p>	<p>(4) 交通局 (交通事業会計)</p> <p>① 運輸安全マネジメント実施計画をもとに、引き続き乗務員への指導及び研修を継続するとともに、漫然運転等を防止するため、安全意識の改善に向けた研修を更に取り入れ、公共交通機関として社会的に重要な役割を担っていることを認識させ、安全な輸送に努めます。</p>

<p>(5) 市立病院（病院事業会計）</p> <p>① 今期は、医業費用が前年同期と比較し3,249万円増加したものの、医業収益が9,615万円増加し、医業収支が6,366万円改善したことは評価できる。中でも、委託料の縮減は、職員の努力によるところが大きい。今後も、引き続き経営改善に向けた取り組みに努められたい。</p>	<p>(5) 市立病院（病院事業会計）</p> <p>① 病院を持続的に安定経営していくには、「収益の拡大」と「経費の縮減」の取り組みを間断なく行っていく必要があります。</p> <p>令和2年度からは、委託料が高騰する傾向にあった給食調理業務委託を直営化し、費用の効率化と給食サービスの充実化を実現していきます。</p> <p>引き続き、経費の効率化及び収益の確保に向けた取り組みを推進しながら、経営改善を図ってまいります。</p>
--	---